

学生要望のくつろげる場所 八学大に交流ラウンジ開設

新たに開設した学生交流ラウンジ
（八戸学院大提供）



八戸学院大は16日、キャンパス内に新設した「学生交流ラウンジ」の利用を開始した。学生からの「くつろげる場所がほしい」との要望を受け、学生の自治組織である学友会と学校側が協議して開設した。

今年2月に整備方針が決まり、8月から準備を進めてきた。3号館1階の自習室を改装し、整備した。

一人でゆったりと座れる背もたれの大きな椅子や、複数人が並ぶことのできるソファなど、個人でもグループでも使いやすいよう、さまざまな椅子やテーブルを用意した。

16日は、利用開始に先駆けてオープニングセレモニーが行われ、学友会の金入俊輔執行委員長が「友人とご飯を食べたり、ゼミやサークルのミーティングを行ったりと、使い方はさまざま。ラウンジを

きっかけに新たな交流が生まれ、キャンパスライフがより豊かになることを祈念する」とあいさつ。三本木温副学長や学生の代表らがテープカットで完成を祝った。

（向屋敷萌）